

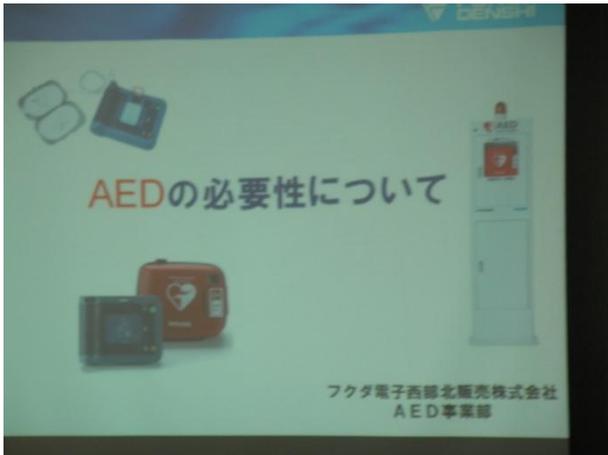
看護部生涯教育

日付：平成 25 年 3 月 5 日 (火) 16:40~17:15

場所：王子病院 3 階研修室

テーマ：『AED の必要性について』

講師：フクダ電子西部北販売株式会社 AED 事業部



わが国の突然死は年間約 6.5 万人、この約半数が冠(状)動脈の動脈硬化による心筋梗塞や心臓病などがもとで、心室細動という不整脈によって起きることが分かっています。

心室細動による心停止は、AED が手元があれば一般市民の手でも救うことのできる唯一の突然死なのです。

心室細動＝なんらかの原因により急に心臓のリズムが乱れて細かく痙攣している心電図の波形。血液が送り出せない状態になるので、意識を失って倒れる。そのまま放置すると 1 分で呼吸は止まり、10 分以内に心臓は完全に停止する。約 10 分で救命の望みは絶たれる。

AED＝数ミリ秒の一瞬に数 10 アンペアの直流電流を心臓に流すための電気装置。

命を繋ぐ救命の 4 つの輪＝気づき→119 番通報→一次救命(AED)→二次救命(集中治療)

具体的で、とても分かりやすい講義でした。

研修中の様子です。